

青森県 令和7年度フッ化物洗口推進事業業務委託事業

フッ化物洗口研修会【市町村・市町村教育委員会向け】

青森市立小・中学校での フッ化物洗口実施にあたって



令和7年8月20日（水）

青森市教育委員会事務局学務課 小野寺里美

今日の流れ

- 1 青森市での実施について
- 2 令和6年度の実績について
- 3 令和7年度の実施について
- 4 まとめ

1 青森市での実施について

実施までの経緯

月 日	内 容
R6.6	補正予算承認(青森県学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金を活用)
R6.7	小・中校長会への説明(7/1・7/9)
R6.7.3	青森市歯科医師会事務局への説明(7/22歯科医師会長へ教育長挨拶)
R6.7.23	養護教諭会での説明
R6.8.7	第1回青森市フッ化物洗口支援事業実行委員会開催
R6.8.21	各学校に実施に係る通知文発出 (8/26～保護者へ各学校を通じて、実施に係る通知文・希望調査配付)
R6.8.30	市教委主催研修講座「学校保健に係る研修講座」での説明
R6.9	洗口液・消耗品納入(業者→学校)
R6.10.1	市立小・中学校でフッ化物洗口を開始(市長・市歯科医師会長等視察)

実施にあたっての主な特徴

- 令和6年10月開始「青森県学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金」を活用
- 関係者で構成する「実行委員会」を立ち上げて、実施方法等について検討
- 実施時間、実施場所は各学校に一任
 - ※回数は週1回、令和6年度は10月から3月で20回を基本とした
- 希釈のいらない溶液タイプの洗口液を用いた週1回法
- 同意書は、市立小・中学校在学中9年間有効
 - ※変更届で年度途中の変更可能としている

令和6年度青森市フッ化物洗口支援事業スケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教育委員会	●第1回実行委員会開催（8/7） ●事業実施について通知（8/21） 【市教委→学校】		●市長視察（10/1） 【浜田小】	●第2回実行委員会開催（11/20）			●第3回実行委員会開催（2/7）	
			●令和6年10月1日 フッ化物洗口支援事業開始【20回実施予定】					
学校・保護者	●事業実施等通知（8/26頃） 【学校→保護者】	●実施希望調査回収（9/6頃迄） 【保護者→学校】 ●実施計画書・申込状況報告書提出（9/20） 【学校→市教委】 ●洗口液等、学校へ納品（9/20迄随時） 【業者→学校】	●10月／5回	●11月／4回	●12月／3回	●1月／2回	●2月／4回	●3月／2回

青森市フッ化物洗口支援事業実行委員会

1 設置の目的

令和6年10月から青森市が実施する「学校におけるフッ化物洗口支援事業」について、小・中学校において適正な運営が行われるよう、歯科医師における専門的立場からの意見のほか、学校、保護者におけるそれぞれの立場から意見を聞くため、青森市フッ化物洗口支援事業実行委員会を設置する。

2 実行委員（下記の関係者により構成。事務局は市教育委員会事務局学務課に置く。）

- (1) 青森市歯科医師会
- (2) 青森市教育委員会委員
- (3) 青森市PTA連合会
- (4) 青森県教育庁スポーツ健康課
- (5) 青森市小中学校教職員

青森市フッ化物洗口支援事業実行委員会

3 実施内容

日 時	内 容
第1回 令和6年8月7日（水） 15:00～16:30	①実行委員長あいさつ ②委員紹介 ③事業概要について ④学校配付資料について ⑤意見交換
第2回 令和6年11月20日（水） 15:00～16:30	①実施状況について ②再希望調査の状況について ③学校へのアンケート調査結果について
第3回 令和7年2月7日（金） 15:15～16:30	①令和6年度実施状況について ②令和7年度実施計画（案）について

学校からの提出書類(学校→市教委)

○【様式2号】

「令和6年度

フッ化物洗口実施計画」

○【様式3号】

「フッ化物洗口申込状況報告書」

学校様式2号

令和6年度フッ化物洗口実施計画

令和 6年 月 日
青森市 学校
校長 校長

1. 目 的
フッ化物洗口の実施により効果的なむし歯予防と歯科保健の向上を図る。

2. 実施期間・対象
令和 6年度 3月 日()より
令和 7年 3月 日()までの実施 曜日 時から(〇〇〇〇) 分まで
全校 学年級

3. 実施場所
〇〇〇〇 校舎 各教室、玄関前

4. 内 容
フッ化物洗口は約10mlを、洗い替での容器(紙コップ)に入れ、適量(1回30秒)から1分間の洗口を行う。

5. 実施方法
(1) 事前に希望の学年を「フッ化物洗口希望申込書」により確認。
(2) 希望者だけに参加。

6. 洗 口 法
洗口液は、希釈不要の簡単タイプの洗口液を使用する。

7. 実施手帳・記録管理
別紙1「フッ化物洗口の手帳」・別紙2「記録管理表」

学校様式3号

令和 年 月 日

青森市教育委員会
教育長 様

学校名
校 長

フッ化物洗口申込状況報告書

1. 出席者数

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
総 数							
男							
女							
計							
参加者数							
男							
女							
計							

2. フッ化物洗口の希望者数

	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	
総 数							
男							
女							
計							
参加者数							
男							
女							
計							

学校への配付物品

○洗口液【オラブリス®洗口液0.2%】

(希釈不要の洗口液。一人一回につき10ml使用)



○洗口液ボトルの専用ポンプ

(1プッシュ5ml)



学校への配付物品

○紙コップ【5オンス(150ml)】



○ティッシュ(一人一回につき1~2枚使用)



学校への配付物品

○ゴミ袋(R6→45ℓ・R7→20ℓ)



○かご(初年度のみ)



学校への配付物品



2 令和6年度の実績について

実施率(令和6年度)

区分	児童生徒数 (10/1時点)	実施児童生徒数	実施率
小学校	11,341人	10,230人	90.2%
中学校	6,194人	4,135人	66.8%
合計	17,535人	14,365人	81.9%

実施時間帯(令和6年度)

区分	実施時間帯
小学校 (42校)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝活動・朝の会 30校 ・給食後・昼休み 11校 ・登校時 1校
中学校 (19校)	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時 16校 ・朝活動・朝学活 2校 ・給食後 1校

実施場所(令和6年度)

区分	実施時間帯
小学校 (42校)	<ul style="list-style-type: none"> ・各教室 40校 ・集会室 1校 ・会議室 1校
中学校 (19校)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒玄関前・玄関ホール 8校 ・各教室 6校 ・水飲み場 3校 ・特活室 1校 ・学習室 1校

経費【初年度】(10月～3月分)

物品	金額
洗口液・ポンプ	10,066,232円
消耗品 (紙コップ・ティッシュ・ゴミ袋・かご)	2,929,755円
計	12,995,987円

再希望調査を実施(11月)

①実施率

区分	児童生徒数 上段10/1時点 下段11/15時点	実施児童生徒数	実施率
小学校	11,341人	10,230人	90.2%
	11,343人	10,349人	↗91.2%
中学校	6,194人	4,135人	66.8%
	6,187人	4,396人	↗71.1%
計	17,535人	14,365人	81.9%
	17,530人	14,745人	↗84.1%

再希望調査を実施(11月)

②実施を希望しない理由

【回答数512人】

理由	人数
歯科医院でのフッ素塗布や自宅でのフッ化物洗口を行っているため	小 124人 中 160人
フッ素に不安や抵抗感があるため	小 66人 中 62人
その他(自由記載)	小 42人 中 58人

再希望調査を実施(11月)

②実施を希望しない理由

その他(自由記載)の内容【小学校】

- ・フッ素の味が苦手なため
- ・フッ素で嘔吐しそうになるため
- ・本人の意思(やりたくない、苦手意識、面倒くさい)
- ・うがいをするのが難しいため
- ・飲み込んでしまいそうなため
- ・アトピー、アレルギーがあり、かかりつけの病院に相談してから決めたいため
- ・かかりつけの歯科医院でフッ素のデメリットについても説明を受けたため
- ・やるならば歯科医院でと考えているため
- ・定期的に歯科医院を受診しているため
- ・感覚過敏のため
- ・実施後、頭が痛くなったため
- ・初めてのことで不安があるため
- ・普段の食事や毎日の歯磨きが大事であって、たまにやる洗口に効果があると思わないため
- ・フッ素を塗って虫歯がなくなるわけではなく、生活環境に原因があると思うため
- ・フッ素には危険性がある考えるため

再希望調査を実施(11月)

②実施を希望しない理由

その他(自由記載)の内容【中学校】

- ・本人の意思(やりたくない、面倒くさい、親はやらせたい)
- ・フッ素の味が苦手なため
- ・フッ素で嘔吐しそうになるため
- ・感覚過敏のため
- ・歯科矯正中のため
- ・定期的に歯科医院を受診しているため
- ・給食後の歯みがきを実施する方が効果的だと思うため
- ・1週間に1回の実施で効果があると思えないため
- ・学校での実施は衛生面が気になるため
- ・定期的に登校できないため、欠席が続いているため
- ・人前でマスクを外せないため
- ・歯科医に推奨しない旨説明を受けて納得しているため
- ・化学物質を避け天然由来のものを取り入れているため
- ・目に見える効果が感じられないため
- ・むし歯がないため
- ・フッ素には危険性がある考えるため
- ・歯垢が付着している歯にフッ化物を塗布しても意味がないと思うため

学校へのアンケート(11月)

1 洗口液や消耗品等について

- ゴミ袋は45L用が配付されたが、1回につき1クラス45Lの袋だと大き過ぎる。
1クラス分は、レジ袋程度の大きさの袋の方が使用しやすい。
- 紙コップではなく、個人ごとが使用しているプラコップ等の使用でよろしいのではないか。
- 紙コップのサイズに対し、10mlしか洗口液を使わないのもったいなく感じる。
- 薄めなくてもよいので大変助かった。別室登校の児童や破損などを考慮すると、ポンプの予備があるとよい。
- 劇薬管理や希釈が不要の洗口液、ポンプ、大変助かっている。計量ポンプの予備があるとありがたい。
- 来年度物品を配る際には、年度分ではなく学期ごと等に分けて届くと助かる。
(保管場所や管理の負担がかかるため)

学校へのアンケート(11月)

2 保護者からの問い合わせ

- 小学校低学年でフッ素を口の中に入ると吐き気がするのでやめたいという問い合わせがあり、変更届を配付した。
- 口に含むと吐き気がするため中止したいと申し出たのが1件。
- 洗口液の味は変えられないか（味が口に合わず嘔吐した児童の保護者から）。
- 意見として、「フッ素洗口には賛成だが、歯磨きをせず洗口しても効果が薄れる。できれば歯磨きをする習慣をつけることからなのでは」という記載があった。ほけんだよりで「フッ化物洗口」は、むし歯予防の一つの方法で、「歯磨きを丁寧にする」ことも重要、しっかり歯磨きをして登校をと載せて対応した。

学校へのアンケート(11月)

3 各学校で工夫していること

- 30秒の動画（東青養護教諭会からいただいたデータ）を見せながらフッ化物洗口をさせている。
- 低学年は1分だと長いかなと感じたので、うがいは、30秒以上と設定。
- 放送委員が朝の放送でお知らせ（朝の活動で洗口実施のため）。
- 水を使ってうがいの練習をしたり、うがいの仕方について動画を見たりして、児童がイメージしやすいように指導した。
- うがいの仕方についての掲示物を開始前の9月下旬から掲示した。
- 教師と児童の役割分担を明確にし、フッ化物洗口液の管理は教師が行うこととし、フッ化物洗口セットの運搬やゴミ捨て等、児童にさせても安全な作業は児童が行っている。
- 担任以外が入る場合もあるので、ワゴンに下げるクラス表示の裏に簡単な手順マニュアルをつけた。
- 遅刻してきた希望生徒がいる場合は、教室に行く前に保健室によってフッ化洗口をやるよう声がけし、漏れがないように努めている。



3 令和7年度の実施について

令和7年度変更点

①年4回に分けて洗口液、消耗品等を納入



令和6年度に全校約500人の学校に納入した半年分の消耗品
令和7年度は、年4回に分けて納入



②保護者向けQ&Aを作成

【協力】一般社団法人青森市歯科医師会

【協力】一般社団法人青森市歯科医師会

【協力】一般社団法人青森市歯科医師会

経費(令和7年度)

物品	金額
洗口液・ポンプ	19,056,268円
消耗品 (紙コップ・ティッシュ・ゴミ袋)	3,972,845円
計	23,029,113円

実施率(令和7年度)

区分	児童生徒数 (4/30時点)	実施児童生徒数	実施率
小学校	11,026人	10,180人	↗92.3%
中学校	6,036人	4,783人	↗79.2%
合計	17,062人	14,963人	↗87.7%

実施時間帯(令和7年度)

区分	実施時間帯
小学校 (42校)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝活動・朝の会 33校 ・給食後・昼休み 8校 ・帰りの会 1校
中学校 (19校)	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時 13校 ・朝活動・朝学活 4校 ・給食後 1校 ・放課後 1校

実施場所(令和7年度)

区分	実施時間帯
小学校 (42校)	・各教室 41校 ・オープンスペース 1校
中学校 (19校)	・生徒玄関前・玄関ホール 7校 ・各教室 7校 ・水飲み場 3校 ・特活室 1校 ・学習室 1校

4 まとめ

青森市教育委員会では、家庭及び関係機関等と連携し学校においてフッ化物洗口を実施することにより、むし歯予防とともに、保健指導や健康診断等の学校教育活動と関連させて進めていくことで、より一層健康教育の充実を図っていきたいと考えています。



ご清聴ありがとうございました。